

<保育士>

Q. なぜ幼稚園教諭ではなく保育士を選んだのですか？

A. もともと乳児期の保育に興味がありましたが、大学時代に保育園実習を行った時に、0歳から5歳までの幅広い年齢の子ども達が、自然に交流し、一緒に遊んでいる姿が印象的だったこと、また、年齢に応じた発達を身近にみられることに魅力を感じて、保育士という仕事に就こうと思いました。

Q. 就職して1年目で、一番大変だったことは何ですか？

A. 1歳児15名を3人で担任することになったのですが、私だけが正規職員ということで、まだ右も左も分からない中、私を中心になってクラス運営を進めていかなければならなかったことが大変でした。私よりも経験豊富な非常勤の先生に、負担をかけてしまっているという不安や焦りがあり、また、保護者も私よりも年上の人ばかりだったので、子育ての悩みなどに上手く応えられているか不安でした。そういった時には、歳の近い先生が親身になって話を聞いてくれたり、アドバイスをしてくれたり、とても心強かったので、私自身も先輩職員になったら、後輩職員が気軽に相談できるような存在になりたいと感じ、今でも心掛けています。

Q. 研修の内容はどのようなものですか？

A. 保育要領等に関するものから、リズム遊びやふれあい遊び等の実際に体を動かすものまで、いろいろな内容のものに参加できます。絵本の読み聞かせなど、次の日からの保育にすぐ生かせるようなものも多く、とても勉強になっています。また、公立保育園の保育士だけでなく、私立保育園の先生や幼稚園の先生も一緒に参加する研修会もあり、各園では最近どんな遊びをしているか、水遊びや運動会などの行事はどのような内容にするかなど、情報交換をする機会にもなっているのも特徴です。

<幼稚園教諭>

Q. 私立と公立、なぜ公立を選んだのですか？

A. 私自身が公立幼稚園に通園していたことが一番の要因ですが、地元に貢献するには公立幼稚園に勤務することが一番だと考えました。

Q. 担任の決め方や、決まる時期はいつですか？

A. 幼稚園は、4月1日の職員会議で担当クラスの発表があります。その後、クラス運営に必要な物の準備に取りかかります。決め方については、園長先生が3月下旬の人事異動を踏まえ、様々な考慮のもと決めているとのことでした。

Q. 一人担任に不安があります。その不安への対処方法は何かありますか？

A. 幼稚園では、基本的に担任は一人となりますが、支援員や加配職員、園長、養護教諭、事務用務員など、様々な職種の職員が連携をしながら、園児のことを園全体で見えています。担任としての責任はもちろん必要ですが、“自分だけでなんとかしなくては”と思いつ過ぎず、周りの先生方に力を貸していただくことも大切だと感じます。

Q. 担任をする上で、何に気を付ければよいですか？

A. 子どもとともに過ごす中で、子ども理解に努めることが大切です。担任は一人ですが、園全体で協力して子どもを育てていこうとする風土があります。職員同士の連携を図りながら園もクラスも運営していますので、わからないことは聞いたり、先輩をまねたりして保育にあたってください。

Q. 困ったことややりがいは何ですか？

A. “こんなことをしたら楽しんでくれそう” “この活動をクラスの幼児と一緒にしたい” という思いをもって活動内容を決めても、いざ活動を行うと、幼児の反応が自分の思っているものではないことが度々あり、幼児の意欲や興味を引き出しながら活動内容を考えることの難しさを感じました。しかし、何が良くなかったのか、どのようにすれば幼児の意欲や興味を引き出すことができるのかを自分なりに反省・考察したり、先生方にアドバイスをいただいたりしながら、何度も挑戦し、幼児の楽しむ姿を見ることができた瞬間、達成感ややりがいを感じます。困ったことがあるからこそ、乗り越えた時の嬉しさは何倍にもなります。

Q. 怒りをあらわにする保護者にはどのように対応していますか？

A. まず、保護者さんがお怒りになった原因を考え、自分自身が独りよがりになって相手のことを考えずに話しかけていないかを考えます。相手と分かり合えないことが何よりもつらいことですので、日ごろから子供の些細な様子を伝えたりして、関係づくりを大切にしています。

Q. 研修の内容はどのようなものがありますか？

A. 幼稚園教諭は、保育終了後の時間に様々な研修を受けることができます。市の研修としては、講師先生をお招きして講演会をしていただくことや、一緒に身体を動かしながら実技の研修をしていただくことなど、幅広い分野での研修を受ける機会があります。また、研修の後にはアンケートもあるため、今後受けた研修内容を記述することも出来ます。

<保健師>

Q. なぜ津市に就職を希望したのですか？

A. 近隣の在住ではあるものの、仕事としてこれまで津市との関わりはありませんでした。しかし、就職活動で様々な市町村について調べる中、広大な市域に豊かな自然環境や様々な歴史文化があることはもちろん、津市役所へ転職している方も多く、採用年齢も幅広く設けてあることから年齢や学歴、職歴も様々な人に出会える可能性に魅力を感じました。

Q. 仕事と家庭の両立は大変ですか？

A. 私は3人の子どもを出産した後、30歳で転職しました。子どもが急病の際にも子の看護休暇が取れたり、休暇をもらって学校行事に参加できたり、子どもの年齢に応じて短時間勤務ができる労働環境がある事は本当にありがたく、家族のサポートだけでは乗り越えられませんでした。何より理解ある上司や先輩方、同僚にも恵まれているからこそ家庭との両立ができていると実感しています。

Q. なぜ看護師ではなく、保健師として働こうと思ったのですか？

A. 看護師も保健師もどちらもやりがいのある仕事ですが、以前看護師として勤務していた際に患者さんと関わる中で「もっと地域や在宅に根付いた役割を果たしたい」と予防医療の専門職である保健師に転職しました。現場には、看護師を経験していた方もいますが、学校卒業後すぐに保健師として就職し活躍している先輩方もたくさんいます。就職してからも幅広い分野の知識を身につけ、更新しながら経験を重ねていくのは保健師も看護師も変わりません。しかし、人の一生に関わり寄り添うことのできる職種はなかなかありません。その専門職である保健師として働けることにやりがいを感じています。

Q. 職場の雰囲気、環境はどうですか？

A. 津市では新規採用されてから数年間はプリセプターという制度のもと、皆で一緒に人材育成していくという仕組みがあります。また若手の勉強会もあり、相談しやすい環境で就職してからも安心できました。実際に、市民の方々からの相談で悩んだり、困ったことがあっても助言をもらいながら解決に向けて一緒に考えてもらえるので心強いです。仕事のことだけでなく、プライベートなことも話しやすい環境です。

Q. 必要なスキルや保健師のやりがいとはどんなことですか？

A. 保健師は、全年齢の地域の方々を対象に関わるので、あらゆる年齢や立場の人に医学的な知識を持つ専門家としてアドバイスするので問題を多角的に視る「目」を養っていくことはもちろんですが、その人たちの様々な声を「聴く」ことができるとよいと思います。また地域には、様々な「その道の専門家」が保健師と連携しているのでその声を元に、一緒に地域づくりや健康づくりを進めていけるのは保健師の醍醐味でもあると思います。

<技能員（清掃員等）>

Q.主にどういった仕事をしていますか？また、時間外勤務はありますか？

A. 部署によりますが、私の部署では漏水・濁り水対応や工事立会等など、多岐にわたる業務があります。また、突発的な漏水や夜間に工事の立会を行うこともあるので、時間外勤務もあります。

Q.年休等の休暇は取れますか？

A. 年休は年に最低5日間以上は取得しなければいけませんし、夏季休暇も5日間は取れます。人によりますが、私は5日間以上年休を取っています。